

開門二日目なり。争議團は於ては應援隊と共に午前五時頃より表門附近及び  
要所々々を三人五人と隊を組み一人も入場せぬと眼を光らし、表門附近を以  
野武士組瀬野久司等も見受けた。入場者殆んど前日と異ならず。

午後零時三十分より大正座に於て大阪鐵工所糾弾大演説會を開催せり。

出席年士左の如し。

- 大阪造船組 小坂部民之助、京都聯合會 田辺涉
- 難聯合會 和田竹一、大阪機械労働組合 鈴木悦次郎
- 大阪合同組合理事 三木隆、大阪電氣労働組合理事 由坂次郎
- 尼ヶ寄労働組合 大山隆、<sup>因</sup>南島労働組合 山本繁善
- 大阪及逆團長 金子英、大阪野武士組 瀬野久司
- <sup>因</sup>大阪鐵工組合 市村光男、大阪印刷工組合 秋 優
- 大阪聯合會理事 金政米吉

演説の要旨

組合運動、利益と団結の必要、會社の横暴と工場長が攻撃し移り官憲  
の圧迫、婦人の自覚を促し、所民の後援を望み、決死の覚悟等を絶叫し  
午後五時閉會せり。

当日の聴衆約八百名職工大部分を占め一部、所民と約五十名余、婦人も見へ  
たり。

一方類々調停の勞を採りし車畑隊長其他は連續して争議團最高幹部と  
工場幹部との中間に立ち登夜を分たす努力し、本日正午車畑隊長と工場幹  
部との會見あり。

- 一、總ての要求條件を撤回し工場長一任する事
- 二、右は資格者(隊長、小頭)の斡旋によりて協定す。

右の如き工場側の提議に依り工場長を梅頼一任する事となり、紛糾解り、  
リレ争議も茲に円満解決、域も違ふこと、行儀も争議團最高幹部と一般  
争議團員の計り事々々、而して計ると云ふも通知する位にて解決すと云ふ事あり